

令和3年9月16日

病院長各位

鎌倉市医師会会長 山口 泰
公衆衛生担当理事 今井 一登

更なる確保病床の拡大及び陽性患者の新規受け入れ等について

神奈川県医師会を通じて、通知がまいりましたのでお知らせいたします。

神奈川県健康医療局医療危機対策本部室長
(公 印 省 略)

さらなる確保病床の拡大及び陽性患者の新規受入等について (通知)

日頃から本県の感染症対策の推進に格別の御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

現在、協定上の病床数を上回る病床の確保や陽性患者の入院受入の開始など、多くの認定医療機関の御尽力を賜り、フェーズ「4」の最大確保病床数1,790床を超える約2,000床の即応病床数を確保することができました。

一方、8月以降、新規陽性患者数が2,000人を超える日が11日連続となるなど、県内の感染の急拡大による入院患者の急増が止まらず、現状では、血中酸素濃度93%以下であるにもかかわらず、病床のひっ迫により、入院調整となる患者が約250名存在し、今後も増える見込みであることに加え、自宅・宿泊療養者が死亡する事例も現実には発生しています。

そこで、本日、県内各病院あてに、別紙記載の運営形態ごとに病床拡大、新規受入の開始又は看護師等の人材派遣への協力への御検討について要請しましたので、お知らせします。

問合せ先
企画グループ 松本
045-285-0670

医危第1884号
令和3年9月1日

県内各病院 院長 殿

神奈川県知事 黒岩 祐治
(公 印 省 略)

さらなる確保病床の拡大及び陽性患者の新規受入等について (要請)

日頃から新型コロナウイルス感染症に係る医療の提供の継続に御尽力くださり、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の県内の感染状況の急拡大により、県では令和3年7月28日及び8月4日付けで、陽性患者を受け入れる確保病床について、病床確保フェーズ「4」への引き上げに伴う拡大要請を行ったところです。

その後、確保病床に係る協定上の病床数を上回る病床の確保や陽性患者の入院受入の開始など、多くの認定医療機関の御尽力を賜り、フェーズ「4」の最大確保病床数1,790床を超える約2,000床を確保することができました。

一方、8月以降、新規陽性患者数が2,000人を超える日が11日連続となるなど、県内の感染の急拡大による入院患者の急増が止まらず、現状では、血中酸素濃度93%以下であるにもかかわらず、病床のひっ迫により、入院調整となる患者が約250名存在し、今後も増える見込みであることに加え、自宅・宿泊療養者が死亡する事例も現実発生しています。

このような状況では、県内各病院が「総力戦」で対応していく必要があります。そこで、次のとおり各病院（神奈川モデル認定医療機関以外も含む。）にさらなる病床拡大等への協力について、御検討をいただきたく依頼します。別紙の「増床対象」となる病院には、今後、県又は政令市から個別に御相談させていただきますので、御承知おきください。